

様式第五十の三（第48条第6項関係）

認定事業再編計画の実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

令和4年3月31日

2. 認定事業再編事業者の名称

クラブツーリズム株式会社

3. 認定事業再編計画の実施期間

令和3年4月～令和6年3月

4. 事業再編に係る事業の達成状況等

（1）事業再編に係る事業の達成状況

認定計画に基づき、以下のとおり事業再編を行った。

（事業の構造の変更）

KNT—CTホールディングス株式会社より210億円の増資を受けることで、時代のニーズに応じたテーマ旅行を拡大し、令和3年10月からスタートしている「新・クラブ1000事業」を本格導入した。

「新・クラブ1000事業」とは、顧客同士が共通の趣味で繋がり、集う、オンライン・プラットフォームを構築し、様々なサービスを提供し、この場に集う熱量の高い顧客を基盤にして、クラブツーリズムを成長させる取り組みである。同事業の具体的取組の1つがクラブツーリズムパスの導入である。これは、オンラインコミュニティ上で共通の趣味（テーマ）を持つ者同士で繋がりをもってもらい、同コミュニティにて、動画コンテンツ、講座、イベント、会員限定の旅行サービス等をサブスクリプションの形式で提供するものである。

（前向きな取組）

① テーマ旅行の拡大

テーマ旅行とは、付加価値の高い宿泊施設を使用したツアーや趣味嗜好を基軸としたツアーである。テーマ旅行の継続的な実施により、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が完全に払拭されない中でも、着実な売上成果を上げることが出来た。

② クラブツーリズムパスの推進

クーポン発行による会員登録推進やWEBプロモーション活動の強化等の入会プロモーション活動を実施した。結果、令和6年3月末には累計約3.2万人の会員獲得の実績を残した。令和5年度のクラブツーリズムパス会員による旅行売上高は約60億円にも上るなど、会員獲得の効果は、旅行業にも積極的に波及している。

同事業は、デジタル時代における顧客基盤の再構築という目的もあり、今後は優良顧客確保の更なる推進による顧客コミュニティ形成にも取り組むことを予定している。

（2）生産性の向上を示す数値目標の達成状況

生産性の向上については、令和5年度は従業員1人当たりの付加価値を436%向上させることを目標としていたところ、実際には323%の向上となった。目標値には及ばなかったものの、テーマ旅行の拡大等により営業利益が増加した結果、従業員1人当たりの付加価値も大きく向上した。

財政内容健全性向上については、令和5年度における有利子負債はキャッシュフローの-3.3倍、経常収支比率は104.1%とすることを目標としていたところ、実際には、有利子負債はキャッシュフローの-2.6倍、経常収支比率は102.1%となった。令和5年度の売上高が計画を下回る96,865百万円となり、経常収支比率は僅かに目標値に及ばなかった。

5. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数

計画	1,816名	実績	1,816名
----	--------	----	--------

(2) 事業再編の終了時期の従業員数

計画	1,173名	実績	1,095名
----	--------	----	--------

(3) 事業再編に充てた従業員数（令和6年3月までの累計実績）

計画	87名	実績	87名
----	-----	----	-----

(4) (3)中、新規採用された従業員数（令和6年3月までの累計実績）

計画	0名	実績	0名
----	----	----	----

(5) 事業再編に伴い出向又は解雇された従業員数（令和6年3月までの累計実績）

出向	計画	137名	実績	338名
転籍	計画	0名	実績	271名
解雇	計画	0名	実績	0名